

## ～各地の研究会ご紹介～

### 福岡グループ精神療法研究会

代表者：加藤隆弘（九州大学大学院医学研究院精神病態医学）

登録者数：40名程度（開催の度に、随時、参加者を募集しています）

連絡先：[fukuoka.grouptherapy@gmail.com](mailto:fukuoka.grouptherapy@gmail.com)

集団精神療法やグループに馴染みのない入門者を主な対象としたグループ精神療法の研究会です。これまで、入門レクチャー、事例検討会そして体験グループを行ってきました。年1-2回外部から講師を招き、体験グループや事例のスーパービジョンを随時開催しています。私たちの臨床はグループに溢れています。グループという視点を持てるようになることで、日常臨床を営みやすくなります。興味ありましたら是非ご参加ください。

### 体験的グループの会

代表者：野村学

登録者数：20名

連絡先：[manabu-m@yb3.so-net.ne.jp](mailto:manabu-m@yb3.so-net.ne.jp)

2009年から継続している会です。小グループでメンバーとじっくり交流し、普段は後回しにしがちな自分の感覚や考えに戻ることを目指します。グループワークに関心のある方、グループを通じて自分自身を見つめ・整えたい方、どうぞご参加下さい。知識やハウツーを学ぶスクール形式の勉強会とは違い、丸くなって話し合うグループはエネルギーも少々使いますが、個人として、また援助職としての重要な経験になると思います。

### 神奈川グループ研究会

代表者：長谷川麻弓

登録者数：25名

連絡先：[sakura0111@gmail.com](mailto:sakura0111@gmail.com)

神奈川グループ研究会は、2008年に「東京まで行かなくてもグループをしたり事例検討したりできる」場として発足しました。活動は主に町田駅近くの会場を利用しています。（町田は神奈川と東京の県境ですが、実は東京です。）

少人数での活動なので、現場で困っていることなど比較的気楽に検討できます。興味がある方はぜひご連絡ください。（件名に「神奈川グループ研究会の件」と入れてください。）

## システム・センタード・アプローチ研究会

代表者：鴨澤あかね（集団精神療法学会認定スーパーバイザー）

登録者数：約 30 名（現在は毎回 10 名ほど参加）

連絡先：[scastudygroup@gmail.com](mailto:scastudygroup@gmail.com)

研究会 HP：<https://scastudygroup.wixsite.com/sctstudygroup>

システム・センタード・アプローチ（略称：SCT）の普及啓発・研究を行う目的で、SCT を用いたグループ体験や研修会、研究活動等を行っています。SCT はシステムという考え方を特徴とするグループ・アプローチで、1 人の人間もまた 1 つのシステムであるとなし、グループだけではなく、個人の創造的変容にも応用できる手法です。詳しくは当会ホームページでご案内しています。ぜひご覧ください。

## 栃木県グループサイコセラピー研究会

代表者：岡島美朗（自治医科大学附属さいたま医療センター）

登録者数：約 30 名（現在は毎回 10 名ほど参加）

連絡先：[yotakakuwa@gmail.com](mailto:yotakakuwa@gmail.com)（高桑洋介：自治医科大学附属病院こころのケアセンター公認心理師）

現在、栃木県グループサイコセラピー研究会は隔月第 4 火曜にオンラインでの体験グループを開催しています。故高良聖先生にグループ SV をしていただく目的で 10 数年前に開始し、対面で開催していた時期はロールプレイでの事例検討も行っていました。高良先生が常々おっしゃっていた「グループの楽しさ」を体験するとともに、メンバー個々のスキルアップを目指して活動中です。皆様、ぜひ一度参加してみませんか？

## 集団精神療法セミナー（T グループ）水曜会

代表者：柴田応介、工藤剛、羽田舞子

登録者数：登録者数は毎回異なります。

連絡先：[oosukesbt@gmail.com](mailto:oosukesbt@gmail.com)

集団精神療法のセミナー水曜会は 1987 年から始まりました。集団精神療法の習得には、勉強だけでなく体験が欠かせません。当会では毎年春秋の 2 回、1 クール隔週 6 セッションの T グループを行ってきました。来年は下記の日程で ZOOM で開催します。ご参加をお待ちします。

2022 年①1 月 5 日②1 月 19 日③2 月 2 日④2 月 16 日⑤3 月 2 日⑥3 月 16 日

いずれも水曜日 19:30～21:00 参加費 5000 円

## プシコフィリア会

代表者：黒崎優美（くろさき ひろみ）

登録者数：20名

連絡先：[nara\\_u\\_pps@yahoo.co.jp](mailto:nara_u_pps@yahoo.co.jp)

研究会 HP：<https://naraupps.wixsite.com/psychophilia>

精神分析家ビオン、その後継者であるハフシの仕事から学び、その応用や発展を目指す会です。事例検討などを行う勉強会（第2木曜）、研究会（年1回）、研究誌『プシコフィリア研究』発行（1～2年に1回）を行っています。活動歴は10年以上となり、2022年に10冊目の研究誌を発行予定です。詳しくはサイトをご覧ください。共に学ぶ仲間をいつでも歓迎します。興味を持ってくださったら、お気軽に問合せください。

## worksTokyo

代表者：梶本浩史、長谷川麻弓、高橋馨、中里容子

登録者数：約170名（メーリングリスト登録者数）

連絡先：[workstokyo.cts@gmail.com](mailto:workstokyo.cts@gmail.com)

研究会 HP：<https://www.workstokyo.net/>

グループに関する事例検討会や体験グループなどの相互研修を企画し、メーリングリストを通じてご案内をお送りしています。現在のメーリングリスト登録者数は約170名で、関心のある研修にお申込みいただいでご参加いただけます。臨床的なグループのみならず、産業領域や教育領域、日常で関わる様々なグループに関心のある方であれば、どなたでもご登録いただけます。詳細はHPをご覧ください。

## グラスルーツ大学

代表者：梶本浩史、庄司真理

登録者数：登録制にしていません。グラスルーツ大学のYouTubeチャンネルの登録はできます。

連絡先：[grassroots.uni@gmail.com](mailto:grassroots.uni@gmail.com)

研究会 HP：<https://grassrootsuni.wixsite.com/grassroots/gallery>

YouTube：<https://youtube.com/channel/UCWCgFONvbS2Bkay9otm3dfg>

グラスルーツ大学では、草の根の実践がブラッシュアップされる「キッカケ」づくりを目指しています。ゲスト（Trail-blazer：草分け的な先駆者）にZOOMで話してもらい、それを録画してYouTubeに配信しています。また、希望者はゲストの話リアルタイムで視聴&ディスカッションすることが可能です。なお、2021年度はJAGP39の準備に尽力するため、2022年度以降に再始動します。

## 災害について語り合うグループ

代表者名：飯野綾香、関百合、高林健示、橋本明宏、吉岡直子

登録者数：7名

連絡先：[kinshicho.3.1group@gmail.com](mailto:kinshicho.3.1group@gmail.com)

2011年3.11東日本大震災を契機として本グループは発足しています。災害について語り続けていますが日常の中で忘れていたり、抑圧している気持ちやそれ以外の自分の抱える課題について話す場にもなっています。毎月第2火曜日19:00~20:30の時間でオンライン開催しています。参加費は2,000円/一回(参加会費制)、いつからでも参加できます。みなさまのご参加お待ちしております。

それではお手数お掛けいたしますがご検討の程どうぞよろしくお願いいたします。

## 東北集団精神療法研究会

事務局長：藤澤美穂、 実行委員：安部康代、高橋文絵、長友敦子、針生江美

登録者数：メール登録85名

連絡先：[tohoku.group.study@gmail.com](mailto:tohoku.group.study@gmail.com)

東北集団精神療法研究会は、仙台のメンタルクリニック（島村三重子先生）での体験グループに参加していた有志が実行委員を務め、第1回研修会を2014年に開催。以降年3回程、体験グループ、事例検討、災害とメンタルヘルスに関する研修等を仙台や盛岡や気仙沼で実施しました。コロナ禍以降は年1回のオンラインでの体験グループを開催しています。集団精神療法の学びの場、出会いの場となることを願い、活動をしています。

## グループアナリシス研究会

代表者：関百合

登録者数：10名

連絡先：[groupanalysiskenkyukai@live.jp](mailto:groupanalysiskenkyukai@live.jp)

グループアナリシスによる月例のグループを開催しています。次回のクールは2022年5月スタートです。今のところ対面かオンラインかは決まっていません。対面の場合の会場は東京の錦糸町クボタクリニックです。参加者資格は日本集団精神療法学会の会員であること、いずれかの体験グループに50時間以上参加されていることです。2年以上参加されることをおすすめします。会費は年間10回30,000円です。

## 藤堂サイコドラマ研究会

代表者：藤堂宗継

連絡先：[psychodrama@todoip.org](mailto:psychodrama@todoip.org)

1985年から活動し、集団精神療法やサイコドラマの理論や技法の研究、実践、教育を目的とし、トレーニング及び体験グループを開催している。理論及び技法を学ぶ一年間のトレーニンググループ、古典的サイコドラマを学ぶワンデイグループ、月1回古典的サイコドラマを体験するためのオープングループと1泊2日の合宿によるグループなどを開催した。COVID-19以降はオンラインのトレーニンググループを開催中である。

## 北海道集団精神療法研究会（HGT）

代表者：田辺等

登録者数：約60名

連絡先：[hokkaido-gt@hgt2004.sakura.ne.jp](mailto:hokkaido-gt@hgt2004.sakura.ne.jp) 電話 011-820-1551

事務局： NPO 法人 きなはれ 白石障がい者就労センタースカイ（担当 吉野・常盤野）

facebook: <https://www.facebook.com/HokkaidoGT>

北海道集団精神療法研究会（HGT）は、平成15年からグループを学びたいという人達が集まって活動を始めました。現在は春季・秋季セミナー、5か月体験グループ、事例検討会（レジュメのいない事例検討会）等、グループに興味がある方たちが気軽に参加できるように、会員、非会員の枠を超えて研修会などを開催しています。オンラインでの開催もありますので、北海道以外の方もぜひfacebookなどでつながってください。